

(答えは解答カードの にマークしなさい。)

「その一」

【一】次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

二〇〇三年、「一人一人違う種を持つ……」として同じものはないから……もともと特別な *Only one* と歌う *SMAP* の *『世界に一つだけの花』が大ヒットしました。これは、「そのままの存在でいいんだよ」という癒やしの歌のようにも聞こえますが、見方を変えれば、 には価値がないかのように思われる唄りの歌ともいえます。

現代の子どもたちは、「個性的な自分」の実感をすでに得ているというよりも、むしろ何とかして個性的でありたいと願い、そうあらねばならないと焦っているのが実情でしょう。いまの平凡な自分は「本当の自分」ではない、「本当の自分」はもっと輝いているはずだ、彼らは、なんとかそういう思い込もうと②躍起になっています。

個性的な存在たることに究極の価値を置くこのような社会的圧力の下で、彼らは、自己の深淵に隠されているはずの潜在的な可能性や適性を見出そうとあせり、絶えざる焦燥感へと駆り立てられています。その結果、③個性に対するこのような強い志向性は、彼らの多くに共有された社会的なパーソナリティの特性にまでなっています。換言すれば、「個性的であること」は、彼らのあいだではもや社会規範の一つと化しているのです。

個性化と社会化は、それぞれ異化の側面と同化の側面をさす概念として、一般には対称的に用いられています。すなわち、個性化とは、「自分らしさ」を發揮すること、自分の持ち味を生かして他者とは異なる独自な存在として自己実現をめざすことであるのに対し、社会化とは、他者と共に規範意識を身につけること、周囲の人びとと な生活を送るために社会の一員として適切な価値観を身につけることだといわれています。しかし、「個性的であることは素晴らしいことだ」との想いを、かつての社会とは異なって、現代では多くの人びとが共有しているのだとしたら、それはまぎれもなく社会現象の一つであり、したがって④その想いは社会化的な産物にほかならないといえます。「個性的であらねばならない」という規範がまず社会の側にあって、それを内面化させられているからこそ、そうなりたいと人びとは切実に願うようになるのです。

人間は、本来的に社会的な存在です。じつは、⑤個性化もまた社会化の産物であり、その様式の一つにすぎません。子どもたちは、「 II 」な個性をもつた自分」という自意識を、生まれながらに抱いているのではなく、むしろ社会生活のなかで期待され、獲得していくのです。その意味では、いささか逆説めいた言い方になりますが、社会化に対して彼らがリアリティを感じていないのは、 III な感受性を強調するようななかたちで、現在の社会化が進んでいるからなのです。現代の子どもたちは、「自分らしさ」の根源を、そのオンリー・ワンの根拠を、自らの内面世界へと探求していくように、ほかならぬ社会から煽られています。⑥皮肉にも、社会化に意義を認めないようなその新たな社会規範に、否応なく拘束され社会化されているのです。

個性的な存在たることに価値を見出そうとする近年の傾向は、現在の日本に見受けられる歴史感覚の欠如と密接に関わっています。かつて、日々刻々と社会環境の変動していく近代化の過程では強力に自覚されていった歴史感覚が、昨今は急速に失われてきています。そして、過去の歴史と対話ができるないということは、過去の無数の物語のうえに現在が成り立っているという事実に気づく⑦ケイキを持ち合わせていないことでもあるのです。

社会が大きく変動を繰り返していれば、人びとはそこに歴史性を容易に見出すことができます。時間の経過とともに、世界の構造がどんどん変わっていくからです。しかし、近代化のとおりあえず終了した現代に生まれ育った若い人びとは、社会がすでに変動をやめてしまつた時代を生きているため、自分たちのこの世界が大きな歴史の一コマにすぎず、その背後には膨大な物語が堆積していることを実感できないのです。彼らにとっては、現在のこの世界だけがリアリティをともなつた世界のすべてとなっています。⑧彼らは、まさしく「世界の中心」を生きているのです。

このように考えるなら、昨今の若者たちの特徴である自己の内面的世への傾倒は、彼らの歴史感覚の欠如の反映であることができます。歴史に対する想像力の欠如は、 ⑨ 社会に対するリアリティとは、社会が実在していることについての手触りのようなものです。その感覚が衰退してきているということは、等身大の関係をこえた超越的なものに対するリアリティを見失つてしまっているということでもあります。

したがつて、若い人びとのあいだで、公共圏における一般的な他者との関係が成り立ちにくくなっているという事態は、じつは * 前章で述べたような親密圏の重さの増大のみに由来しているわけではありません。そもそも、⑩ 公共圏における関係性を支えるための共通基盤がそこに存在しないくなっているという側面もあるのです。これまで、自分たちの生きる世界に限定されず、歴史的なものに対してもアリティを見出す感性は、等身大の関係性に限定されず、社会という超越的な実在に対してもアリティを感じさせる想像力の源となってきたのですが、昨今の歴史感覚の欠如によって、その想像力も失われつつあるのだといえます。

(注) *『世界に一つだけの花』：二〇〇三年に発売された、男性アイドルグループ *SMAP* の楽曲。

*前章で述べたような：筆者は前章で、現代の人びとの人間関係が狭く、閉じられたものになっていることに言及している。

問 空欄①に入るごとばとして最も適当なものを、次のア～カから選びなさい。 1

- ア. どこにも「特別な Only one」を見出せない社会
- イ. どこにも「特別な Only one」を見出せない自分
- ウ. どこにでも「特別な Only one」を見出せる社会
- エ. どこにでも「特別な Only one」を見出せる自分

問 傍線部②「躍起になっています」とあります、「躍起になる」の意味として最も適当なものを、次のア～オから選びなさい。 2

- ア. 必死になる
- イ. 不安になる
- ウ. 計画を練る
- エ. 仲間を作る
- オ. 努力をする

問 傍線部③「個性に対するこのような強い志向性は、彼らの多くに共有された社会的なパーソナリティの特性にまでなっています」とあります。が、

どうしたことですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。 3

- イ. 自分の中に存在するはずの個性を見つけることは、他者との調和を強制する社会に対抗するための手段になつていています。
- ウ. 他者とは異なる個性的な存在でありたいという切実な願いは、現代の子どもたちが社会で従うべき基準になつていています。
- エ. 他者と共に規範意識を持ちながら個性的であるということは、現代社会では決して認められない状態になつていています。
- オ. 現代の子どもたちが個性を發揮することは、多様化する社会で対話をしながら生きるために必要な能力になつていています。

〔その2〕

問

空欄I・II・IIIに入る語句の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～オから選びなさい。

4

問

傍線部④「その想いは社会化の産物にほかならない」とありますか、なぜですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

5

問

ア. I—I内閉的 II—協調的 III—生来的
ウ. I—生来的 II—協調的 III—I内閉的
エ. I—I協調的 II—I内閉的 III—生来的
オ. I—I協調的 II—I内閉的 III—I内閉的
カ. I—I協調的 II—I内閉的 III—I内閉的

イ. I—I内閉的 II—I内閉的 III—協調的
エ. I—I内閉的 II—I内閉的 III—協調的

ア. 個性的でありたいと人びとが願うことは、個性的であるべきだという社会規範を内面化させられた結果生まれるものだから。
イ. 自分らしさの發揮という共通の規範意識の獲得によって、周囲の人びとの適切な距離感を身につけることができるから。
ウ. 個性的であることの素晴らしさは社会で醸成されるのではなく、人びとの内面を探求することで生み出されたものだから。
エ. 人びとが社会化に対してもアリティを感じていないからこそ、個性的な存在であることを求める社会的圧力が生まれるから。

問

オ. 個性を持った自分という自意識を個人が内面化し、周囲と共有することによって、社会規範として成立するようになるから。
「個性化」もまた社会化の産物であり、その様式の一つにすぎません」とありますが、「個性化」が「社会化の産物」であることを具体的に示している例として、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

6

ア. 極力目立たない髪型で過ごすことを心がけているのに、その髪型が周りの生徒に気に入られてしまい結果的に目立つてしまつた。
イ. 幼い頃からリーダーの役割を担うことが多く、大勢の前で話すことがとても得意なので、生徒会役員に立候補する決意を固めた。
ウ. クラスでは独創的な発想をすると褒められるようになり、必然的にクラス運営についての意見を求められるようになつた。
エ. 誰にも負けない特技を持つべきだという風潮が強くなってきたので、自分が持つべき特技を身につけようとフルートを習い始めた。

オ. 中学校時代には読書感想文の提出を強制されるのが嫌だったが、高校時代に自発的に応募したコンクールでは優秀賞を受賞した。

問

傍線部⑤「皮肉にも」とあります、「なぜ」「皮肉」と言えるのですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

7

ア. 唯一無二の個性的な自分であることは不可能であるにもかかわらず、それを探求せざるを得ない社会が成立してしまつてあるから。
イ. 自分らしさを發揮することは社会化に意義を認めないと主張しているから。
ウ. 社会の一員である自分は個性的でありたいと思つていいにもかかわらず、社会では個性的であることを強いらざつてしまつから。
エ. 社会のなかで存在する自分は実体を持っているものであるにもかかわらず、社会に対してもアリティを感じることができないから。

問

オ. 個性的な自分をめざす行為は他者と共通の規範意識を身につけることと矛盾するにもかかわらず、社会がそれを要請しているから。

問

傍線部⑦「ケイキ」の「ケイ」と同じ漢字を含むものを、次のア～オから選びなさい。

8

ア. 雄大なケイカン。 イ. 事業のケイゾク。 ウ. 新しいケイヤク。 エ. 立派なケイレキ。 オ. 母へのケイイ。

問

傍線部⑧「彼らは、まさしく『世界の中心』を生きているのです」とありますか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

9

ア. よもや イ. いわば ウ. まるで エ. あいにく オ. さしあたり

問

傍線部⑩「公共圏における関係性を支えるための共通基盤がそこに存在しなくなっているという側面もあるのです」とありますか、なぜですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

10

ア. 個性的な自分でありたいと願うことの素晴らしさは、既に多くの人びとに共有されている価値であるから。
イ. 歴史感覚が断絶してしまった今では、社会という超越的な存在に関しては想像することしかできないから。

ウ. 若い人びとのあいだでは多様性が認められているので、異なる他者と社会規範を共有する必要がないから。
エ. 昨今の歴史感覚の欠如により、自分たちの関係性を超えた社会に対する想像力も失ってきているから。

問

オ. 本当に親密な関係を大切にする社会において、それ以外の他者との関係が成り立ちにくくなっているから。

【二】次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

高校一年生の楓は、高校入学を機に地元の弓道会で弓道を始めた。次の文章は楓が弓道会の同期たちと初段の審査会場である明治神宮に向かう場面から始まる。

「小菅さん、やっぱり来られなかつたですね」

楓の横を歩いていた三橋が残念そうに言う。前日の練習中に小菅の息

子から電話があり、子どもが発熱したから面倒をみてほしい、と頼まれ

たのだ。息子夫婦は共働きで、土日も休みではない。なので、しばしば

小菅が孫の面倒を引き受けけるのだそうだ。

①思わず楓は強い口調で言った。

「でもまあ、審査はまだ受けられるし」

「そんなの、わからないよ。次はまた予定が入るかもしれないし、急に病気になるかもしれない」
「それはそうだけど」

「それに私が孫だったら、自分のためにおばあちゃんがやりたいことをあきらめたなんて嫌だもの。おばあちゃんがたむろしている。おばあちゃんがやるのを頑張つてほしいもの」

②小菅ははつとした顔で楓を見た。

「そんなのダメですよ。遠慮しないで、明日は予定がある、つてちゃんと言わなきゃ。ずっと準備してきたんじないですか」

「明日の審査は受けられないわね」

電話を切った小菅が、溜め息交じりに言った。

「孫をひとりでうちに置いておくわけにはいかないし」

「息子夫婦は共働きで、土日も休みではない。なので、しばしば

小菅が孫の面倒を引き受けれるのだそうだ。

「明日の審査は受けられないわね」

神宮の敷地に足を踏み入れると、大きな木々に囲まれているので外の様子がまったくわからない。④緑の壁の向こうから響く車の行き来する音だけが、ここが都会のど真ん中であることを教えていた。木々に挟まれた舗装路を延々歩いて行くと、やつと弓道場が見えてきた。白い二階建ての建物の前に、大勢の人がたむろしている。

「まず順番をチェックしましょう」

〔その3〕に続く)

先輩が建物の外の壁に貼られた紙を指差した。そこに審査の順番が書かれているのだ。自分の番号を探す。五人ずつ一組になつて審査を受けた。だが、楓の番号は七十四番、グループでは四番目となつていた。同じ組の五人目、落ちは小菅、善美は次のグループの大前つまりいちばん先頭、二番目が三橋、三番目がモローという順番になつていた。弓道会の同期は半分に分かれたことになる。

「よかつた、四番目だ」

大前じやない、ということで⑤楓はかなり気が楽になつた。これまで練習をしてきたから、射そのものはちゃんとできると思うが、入退場については不安がある。楓たちの練習している弓道場より、こちらの方が射場が大きい。間口も奥行きも広いから、いつもなら三歩で行けるところを五歩とか七歩で歩くことになる。大前はみんなを先導する立場なので、どこで曲がるかとか止まるかとかは自分で判断しなければならない。大前が間違えればみんなが間違う。責任重大だ。そして、入退場も審査の対象になつているのだ。

四番目なら前に付いていけばいいだけなので、なんとかなるだろう。

(中略)

開会式は実技審査も行う射場で行われた。一〇人立ちの射場はいつも弓道場とは比べものにならないくらい広い。床もぴかぴかに磨かれている。視界が広いせいか、射場から約までの距離も遠くに感じられる。嫌だなあ。せめて一度は本番の会場で練習したかったな。

急にドキドキしてきた。⑥隣の善美はどうして、いつものように平然としていた。モローは雰囲気を楽しんでいるようで、きょろきょろあたりを眺めている。緊張しているのは自分だけのようだ。

「楓ちゃん、大丈夫？ 風色悪いわよ」

三橋に言われて、我に返った。

「え、はい、大丈夫です」

「このあとすぐ初段の審査だからね。頑張りましょう」

開会式が終わると、初段の受験者たちは射場の前のホールに集合した。楓たちの順番は後半だ。審査の番号順に、列になつて待機するのだ。

「欠席者のところは空けないで、詰めてください」

係の人があとで五人ずつ一組に分けていく。

「えっと、ここまでで五人目だから、あなたは次のグループね」

「えっ、じゃあ私は大前なんですか？」

四番目と思つて楓は安心していたのだが、欠席者が多かつたため大前にまで繰り上がつたのだ。

「そうなりますね。……はい、次の五人」

係の人は楓の戸惑いに⑦頓着せず、機械的に割り振っていく。

「わ、どうしよう。大前だけは避けたかったのに」

⑧楓が悲痛な声を出すと、後ろにいる善美はめんどくさそうに肩をすくめた。

「大前の方が、自分のペースでできるからいいのに。私は大前やりたか

(注) *前田さん…楓たちが所属する弓道会の指導者。病気のために審査会に来ることができなかつた。

問 傍線部①「思わず楓は強い口調で言つた」とあります。なぜですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

ア.これまで共に練習に励んできたにもかかわらず、小菅が息子夫婦の頼みを受け入れ、簡単に審査をあきらめようとしたから。

イ.小菅が、練習仲間の楓たちよりも息子夫婦のことを優先し、もともと一緒に審査を受ける気がなかつたことに気づいたから。

ウ.小菅が、大切な審査をあきらめなければならなくなつたのに、楓の前でまつたく落ち込むそぶりを見せていなかつたから。

エ.審査という重要な予定が入つているとわかつて、小菅の優しさに甘えていた孫の本当の気持ちを楓に言いつけて驚いた。

オ.今回を逃せば審査を受ける機会は二度とないと理解しながらも、小菅が投げやりな態度で審査をあきらめてしまつたから。

問 傍線部②「小菅ははつとした顔で楓を見た」とあります。このときの小菅の気持ちとして、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

ア.自分のやりたいことをあきらめる代わりに見ないふりをしようとしていた、孫の本当の気持ちを楓に言いつけて驚いた。

イ.自分の審査のことばかりに気を取られ、発熱して苦しんでいる孫にまで意識を巡らせることができなかつた自分を恥じた。

ウ.孫のことを優先しようとしていたが、楓の言葉で、好きなことをあきらめようとしていた自分に思いがけず気づかされた。

エ.孫の立場になつて審査を受けられるよう背中を押してくれたことで、楓がこれほどまでに立派に成長したのだと実感した。

問 空欄③に入るこどとして最も適当なものを、次のア～オから選びなさい。

ア.自信満々に

エ.ぞんざいな物言いで

オ.自分に言い聞かせるように

「たな」
善美らしいと楓は思う。善美だつたら、どの位置でも飘々と射をするだろう。

「だけど、大前って目立つじゃない。審査員の席にも近いし。それに、同じ組の五人目、落ちは小菅、善美は次のグループの大前つまりいちばん先頭、二番目が三橋、三番目がモローという順番になつていた。弓道会の同期は半分に分かれたことになる。

間違えると後ろの人にも迷惑掛けるし

「いいじやない、そんなこと」

「だつて……」

「審査なんだから、ちゃんと見られるのは当然のこと。それに、ほかの人のことは関係ない。つられて間違えたとしたら、それは間違えた方が悪い」

「それはそうだけど

「自分は自分、人と比べない。弓道つてそういうものでしょ？」

その通りだけど、善美の言う⑨はなんか違う気がする。どこがどう、とはうまく言えないけど。

だけど、嫌だな。ドキドキしてきた。このままじゃ、本番で緊張してしまう。

えい、鎮まれ、私の心臓。

大丈夫、大前でもきっとうまくいく。きっと成功するから。

そう自己暗示を掛けようとしたが、うまくいかない。緊張のあまり胃が痛くなりそうだ。

ふと、中学時代のテニスの試合の光景が脳裏に浮かんできた。始まる前から手に汗をかいて、うまくいく気がしなかつた。そうして、試合が始まつても、足がすくんで思うように動けなかつた。

「ファイト！」

自分がミスするたび、いつしょにダブルスを組んでいた友人がそう声を掛けてくれた。だけど、その声には苛立ちの響きがあつた。中学最後の試合なのに、なんでそんなふざまなの？ そう言われている気がして、

⑩身体がますます硬くなつた。

なんで嫌なことを思い出すんだろう。また、あの時みたいに身体が動かなくなるんだろうか。

その時、どこかで聞いたような声がした。

「すみません、遅くなりました。まだ間に合うでしょ？」

声の方を見ると、小菅が係員に尋ねているところだつた。

「小菅さん、こっち

「あ、楓ちゃん」

小菅と係員が近づいて来た。係員が番号を確認する。

「えっと、あなたはここになりますね。じゃあ、ここからひとりずつ後ろに下りてください」

「どうもすみません。ご迷惑お掛けします」

小菅が後ろの人たちに向かって頭を下げる。その落ち着いた顔を見て、くめた。

(碧野圭『凍として弓を引く』より)
「え、はい、次の五人」

（注）*前田さん…楓たちが所属する弓道会の指導者。病気のために審査会に来ることができなかつた。

問 傍線部①「思わず楓は強い口調で言つた」とあります。なぜですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

ア.これまで共に練習に励んできたにもかかわらず、小菅が息子夫婦の頼みを受け入れ、簡単に審査をあきらめようとしたから。

イ.小菅が、練習仲間の楓たちよりも息子夫婦のことを優先し、もともと一緒に審査を受ける気がなかつたことに気づいたから。

ウ.小菅が、大切な審査をあきらめなければならなくなつたのに、楓の前でまつたく落ち込むそぶりを見せていなかつたから。

エ.審査という重要な予定が入つているとわかつて、小菅の優しさに甘えていた孫の本当の気持ちを楓に言いつけて驚いた。

オ.今回を逃せば審査を受ける機会は二度とないと理解しながらも、小菅が投げやりな態度で審査をあきらめてしまつたから。

問 傍線部②「小菅ははつとした顔で楓を見た」とあります。このときの小菅の気持ちとして、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

ア.自分のやりたいことをあきらめる代わりに見ないふりをしようとしていた、孫の本当の気持ちを楓に言いつけて驚いた。

イ.自分の審査のことばかりに気を取られ、発熱して苦しんでいる孫にまで意識を巡らせることができなかつた自分を恥じた。

ウ.孫のことを優先しようとしていたが、楓の言葉で、好きなことをあきらめようとしていた自分に思いがけず気づかされた。

エ.孫の立場になつて審査を受けられるよう背中を押してくれたことで、楓がこれほどまでに立派に成長したのだと実感した。

問 空欄③に入るこどとして最も適当なものを、次のア～オから選びなさい。

ア.自信満々に

エ.ぞんざいな物言いで

オ.自分に言い聞かせるように

〔その4〕

問

傍線部④「緑の壁」とあります、この表現についての説明として、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

- ア.周囲の木々が豊かに生い茂つて神宮を覆い囲み、あたかも外の空間と切り離されたかのような印象を与えていた。

イ.木々が生い茂つたことで神宮の壁と同化し、壁が鮮やかな緑色で装飾されたようになっていた。

ウ.生い茂つた木々によって神宮が世間から完全に切り離され、音も遮断された神聖な場所であることを表している。

エ.木々がびっしりと生い茂り、審査を控える楓の前に立ちふさがる壁のようにたどえられていることを示している。

オ.豊かに生い茂つた木々が壁のように楓たちを包み込み、それによつて心が穏やかになつている様子を表している。

問

傍線部⑤「楓はかなり気が楽になつた」とあります、なぜですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

ア.先導する役割の大前になると、入退場が審査の対象から免除されるということを示している。

イ.他の受験者の先頭に立つという、重い責任を負わなければならぬ人物である。

ウ.大前ではないことで、普段の弓道場と同じような環境で審査を受けることができると思つたから。

エ.同期五人のグループが分かれたことで、同期のみんなに失敗を見られなくて済むと考えたから。

オ.先導役の大前を外したことにより、大前の善美に付いていくだけの状況が生まれて安心したから。

問

傍線部⑥「隣の善美は」という、いつものように平然としていたとあります、この文章で描かれる善美はどういう人物ですか。善美の人

物像を説明したものとして、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

ア.極力面倒なことはやりたくない無責任な人物である。

ウ.他者は気にしない確固たる自分の意志を持っている。

オ.目立つことを苦にせず他者からの賞賛を好んでいる。

問

傍線部⑦「頓着せず」の意味として最も適当なものを、次のア～オから選びなさい。

ア.気づかず イ.くじけず ウ.共感せず エ.こだわらず オ.反論せず

問

傍線部⑧「楓が悲痛な声を出すと」とありますが、このときの楓の気持ちとして、最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

ア.自分は大前にはならないと思っていたが、國らずも大前を任されてしまった。めんどうだ。

イ.大前になつたのは光榮なもの、先導に失敗したときのことを考えてしまい、不安だ。

ウ.自分は大前にはならないと思つて、繰り上がって大前になつてしまい、つらい。

エ.大前という大役を任されたにもかかわらず、他の受験者は誰も励ましてくれず、悲しい。

問

空欄⑨に入ることばとして最も適当なものを、次のア～オから選びなさい。

ア.モチーフ イ.ニュアンス ウ.ファンタジー エ.パターン オ.エピソード

問

傍線部⑩「身体がますます硬くなつた」とありますが、なぜですか。最も適当なものを次のア～オから選びなさい。

ア.中学時代の嫌な経験を思い出したことで、責任重大な大前をやり遂げる自信がなくなり、緊張が大きくなつたから。

イ.自分を励ます言葉であるにもかかわらず、緊張で身体が思うように動かない自分を非難する思いも感じ取つたから。

ウ.試合前から緊張でうまくいく気がしていなかつたうえに、試合中も苦境を乗り越えられない自分が情けなかつたから。

エ.自分が失敗したにもかかわらず励ましの声を掛けられたため、自分が見下されているように感じられて苛立つたから。

オ.声を掛けてくれる友人にそんなつもりはないのに、一緒にダブルスを組みたくないという思いが伝わってきたから。

問

傍線部⑪「楓は自分も心が鎮まつていく気がした」とあります、なぜですか。本文全体の内容を踏まえ、最も適当なものを次のア～オから選

びなさい。

22

問

空欄①には旧暦三月の月の異名が入ります。空欄に入ることばとして正しいものを、次のア～オから選びなさい。

ア.葉月 イ.霜月 ウ.文月 エ.弥生 オ.師走

問

傍線部②「あけぼの」の意味として最も適当なものを、次のア～オから選びなさい。

ア.午前 イ.真夜中 ウ.午後 エ.夕暮れ オ.明け方

問

傍線部③「又いかは」とあります、ここで上野・谷中の花の梢について作者を感じていることとして、最も適当なものを次のア～オから選

びなさい。

25

問

ア.次はいつ見ることができるのだろうかと不安に思つていて。 イ.いつか見ることができることと感じていることとして、最も適当なものを次のア～オから選

びなさい。

26

問

傍線部④の句についての説明として最も適当なものを、次のア～オから選びなさい。

ア.鳥や魚が過ぎゆく春を名残惜しく思う光景を描写することで、長旅のため親しい人びと別れることの悲しさを表現している。

イ.人ではない鳥や魚でさえ泣いている光景を描写することで、春という季節が人びとの行動に与える影響について表現している。

ウ.鳥や魚が春という季節に涙を流す光景を描写することで、鳥や魚が泣くときと人びとが泣くときは異なることを表現している。

エ.別れの季節である春が深まりつつある光景を描写することで、鳥や魚が自分たちとの別れを惜しむ様子について表現している。

オ.鳥は泣き魚の目に涙が浮かんでいる光景を描写することで、別れの悲しみの表現方法は多種多様であることを表現している。

本作品は『おくのほそ道』の一節ですが、その作者として正しいものを、次のア～オから選びなさい。

27

問

ア.鴨長明 イ.兼好法師 ウ.小林一茶 エ.本居宣長 オ.松尾芭蕉